

基本理念

公教育の使命を自覚した教職員の組織力によって、常に子どもを教育の中心にすえ、一人一人の実態にあった指導内容や方法の改善に努め、保護者や地域社会の負託に応える

学校教育目標

ふるさととつながり、仲間とともに“ありたい未来”を創造する広谷っ子の育成
～明日を心待ちにする学校～

校訓

強 く 正 し く 美 し く

<めざす子ども像>

- 「強く」
ねばり強く主体的に実践する児童
・自己決定に基づく行動力の育成
・健やかな身体づくり
・地域貢献の実践
- 「正しく」
自ら学び個性を伸ばす児童
・主体的な学びと確かな学力の向上
・豊かな表現力の育成
・地域文化の学びと継承
- 「美しく」
こころ豊かで思いやりのある児童
・人権尊重と慎独の精神の育成
・道徳実践力の習得
・郷土愛の育成

<めざす学校像>

- 温かさや活気に満ちた学校
・自尊感情・自己有用感を高める
・明るいあいさつの推進
・温かい人間関係の構築
- 学ぶ楽しさを感じる学校
・主体的、対話的で深い学びの推進
・多様な学びの実施
・個に応じた指導の充実
- 信頼され、安心・安全な学校
・危機管理体制の充実
・保護者、地域との連携の強化
・相談体制の充実(児童・保護者・学校)

<めざす教職員像>

- 信頼される教職員
・高い使命感、倫理観、授業力
・誠実かつ迅速な行動
・児童への共感的理解
- 教育愛に燃える教職員
・子どもの“のびしろ”を信じる
・高めあいと協働
・師弟(子)同行：児童と向き合い、共に汗を流し、共に歩む
- 学び続ける教職員
・資質能力の向上

推進の重点目標と具体的な取組

1 人権尊重の精神の涵養と「豊かな心」の育成

- ① 人権尊重の精神を高める教育の推進 「子どもを大切に」
- ② 「ののくさ賞」「きら星」の取組など、認められる、活躍の場があるなどの自己有用感の醸成による自尊感情の高揚
- ③ いじめなど、不合理に気づき、解決しようとする児童の育成
- ④ 異年齢集団活動、学級活動、児童会活動等、人と人のつながりを深める活動の充実

2 情報教育（ICT教育）の推進

- ① 一人1台のタブレット環境を生かす教育活動の創造
・思考、表現、コミュニケーションのツールとしての活用
- ② 教員のスキルの向上（授業での活用、仕事のICT化）
- ③ タブレットやオンラインの活用の推進

3 自立して未来に挑戦する態度の育成

- ① やぶ・ふるさとキャリア教育の推進
- ② 環境体験学習、自然学校等の体験教育の充実
- ③ 「そうあんのくんの日」の推進
- ④ 外国語活動や伝統・文化に関する教育の推進

4 「確かな学力」と主体的に学ぶ態度の育成

- ① 自分の思い、考えをしっかりと表現できる児童の育成
- ② 「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業の創造
- ③ 学び合いを大切に、共に伸びようとする態度を育成
- ④ 授業規律の徹底（姿勢・態度・文字・整理整頓）
- ⑤ 朝読書、チャレンジタイムの継続・充実

5 たくましく「健やかな体」の育成

- ① 体育科授業を中心とした体力・運動技能の向上
- ② 休憩時間の遊びを通して運動に親しむ習慣づくり
- ③ 睡眠指導、食育など、心と体の健康を推進する教育の充実
- ④ 安全・安心な学習環境の整備、自分の命を守る訓練の実施

6 特別支援教育の充実

- ① 校内委員会開催による指導方針の共通理解、共通実践
- ② 個別の支援計画、個別の指導計画に基づく着実な指導
- ③ 合理的配慮の適切な提供
- ④ 通級指導の適切な実施

7 生徒指導の充実

- ① 児童との人間的なふれあいを通し心の絆を深める生徒指導
- ② 挨拶（特に地域での）の指導と推進
- ③ 生活アンケート、いじめアンケート等を活用した児童の内面理解生活指導委員会の定期開催
いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・早期対応の推進
- ④ スマホやゲーム等メディア使用についてのルール指導の徹底

8 幼小連携、小中一貫教育の推進

- ① 養父中、養父小、建屋小と教育目標及び児童生徒像の共有化、9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進

9 家庭・地域との連携

- ① 学校運営協議会を中心としたコミュニティスクールの推進と地域人材を活用した教育活動の展開、地域の方の体育・文化活動
- ② 家庭・地域の協力による登下校時の見守り活動の推進
- ③ 「そうあんのくんの日」における家庭との連携の強化
- ④ オープンスクールの実施、学級・学校通信の発行、ホームページの更新等による教育活動の発信

10 教職員の資質向上

- ① 日々の研鑽による資質と実践的指導力の向上
- ② 「チーム広谷」を意識した、相互信頼と協働の職場づくり
- ③ 教育公務員としての自覚と高い倫理観の保持、「No!体罰」の徹底、児童と心の通い合う温かい人間関係の構築
- ④ メンタルヘルスの保持・増進と、勤務時間の適正化の推進